



報道機関 御中

令和4年8月4日（木）午後1時 発表

射水市記者発表資料

件名 令和4年度全国学力・学習状況調査について
(担当 学校教育課)

内容

本市の状況を、別添のとおりまとめましたので、ご案内いたします。

問合せ先

担当

射水市教育委員会 学校教育課

TEL 0766-51-6635

令和4年度 全国学力・学習状況調査について

I 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

II 実施概況（射水市小中学校）

- 実施期日 令和4年4月19日（火）
- 調査内容
 - ・ 学力調査（教科に関する調査）
 - （小学校）国語、算数、理科
 - （中学校）国語、数学、理科
 - ・ 学習調査（質問紙調査）
 - 児童生徒、学校

○ 実施学校数、実施児童生徒数

射水市小中学校	小学校6年		中学校3年	
	実施学校数	実施児童数	実施学校数	実施生徒数
	15校	727名	6校	817名

※ 用語説明

平均正答率	<p>平均正答数を百分率で表示</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語、算数、数学、理科ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数） ○ 学習指導要領の領域、評価の観点、問題形式、設問ごとの平均正答率は、それぞれの正答児童生徒数を全体の児童生徒数で割った値の百分率
-------	---

Ⅲ 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

射水市教育委員会では「射水市学力向上委員会」を設置し、学力調査及び質問紙調査の結果を分析・考察して、学力向上対策に反映させている。

特に、日々の授業で児童生徒が「分かる・できる」を実感できるよう、射水トライアル3点セット（射水スタンダード～授業のABC～、授業研究協議ステージアップ、授業力向上のちょいテク）を活用した教員の授業力向上に努めている。学力調査から、小学校では無回答率が全国・県平均に比べて低い。中学校では「知識・技能」の観点の正答率が高いという特徴があった。質問紙調査からは、「自分にはよいところがあると思う」（自尊感情）と回答した割合が全国・県平均に比べて高い。

確かな学力の定着に向け、射水トライアル3点セットを活用した継続的な授業改善を図るとともに、補充学習の充実や学び高め合う集団づくりの推進、ICT機器を活用する研修を一層支援していきたい。

1 学力調査の結果（教科区分別平均正答率）

- 小学校 国語では、全国平均、県平均を共に上回った。
算数では、全国平均、県平均を共に上回った。
理科では、全国平均を上回り、県平均と同等だった。
- 中学校 国語では、全国平均、県平均を共に上回った。
数学では、全国平均を上回り、県平均と同等だった。
理科では、全国平均を上回り、県平均を下回った。

(単位：%)

区 分	小 学 校 6 年			中 学 校 3 年		
	国 語	算 数	理 科	国 語	数 学	理 科
射水市	69%	67%	68%	71%	55%	51%
県との差	2	1	0	1	0	-1
国との差	3	4	5	2	4	2
富山県	67%	66%	68%	70%	55%	52%
全 国	66%	63%	63%	69%	51%	49%

※ 文部科学省は平成28年度より、小数点以下第1位を公表することが、数値データによる単純な比較が行われ、序列化や過度な競争を助長する一つの要因として考えられることから、平均正答率を整数値で公表している。

【参考】(令和3年度：学力調査)

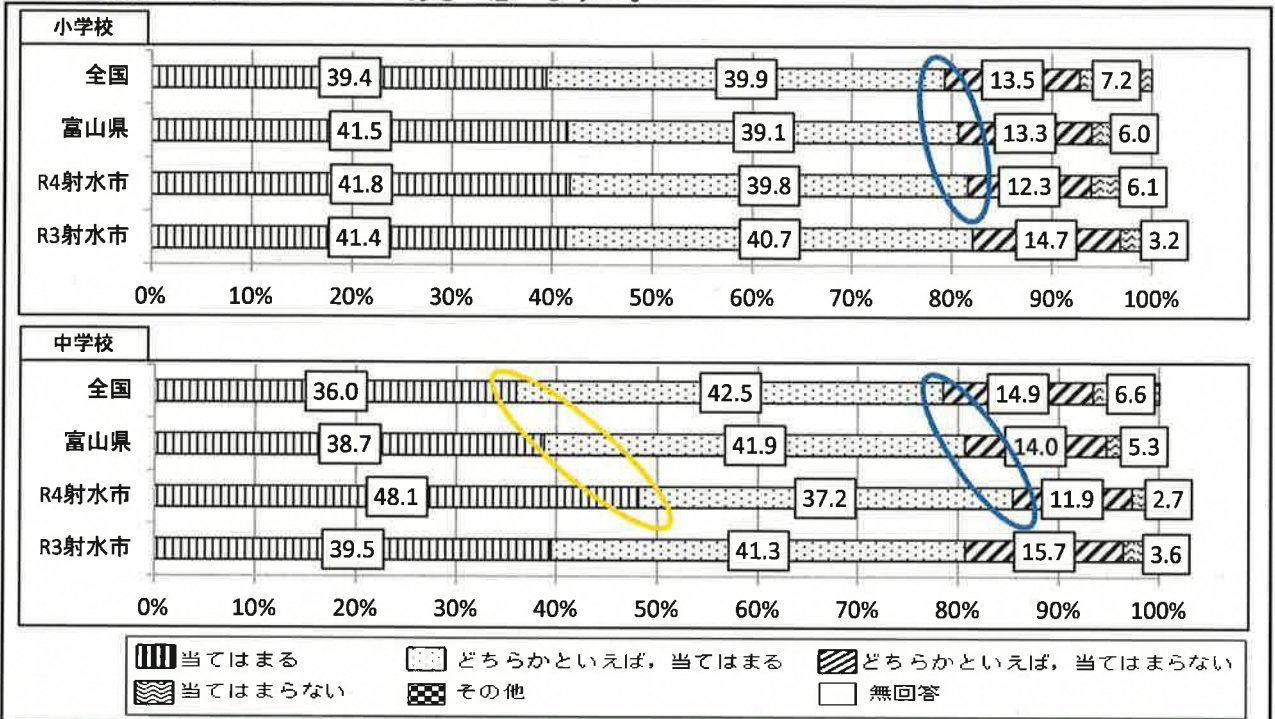
(単位：%)

区 分	小 学 校 6 年		中 学 校 3 年	
	国 語	算 数	国 語	数 学
射水市	68%	72%	65%	60%
県との差	1	-1	0	1
国との差	3	2	0	3
富山県	67%	73%	65%	59%
全 国	65%	70%	65%	57%

2 学習状況調査の結果について <抜粋>

【自尊感情】（児童生徒質問紙より）

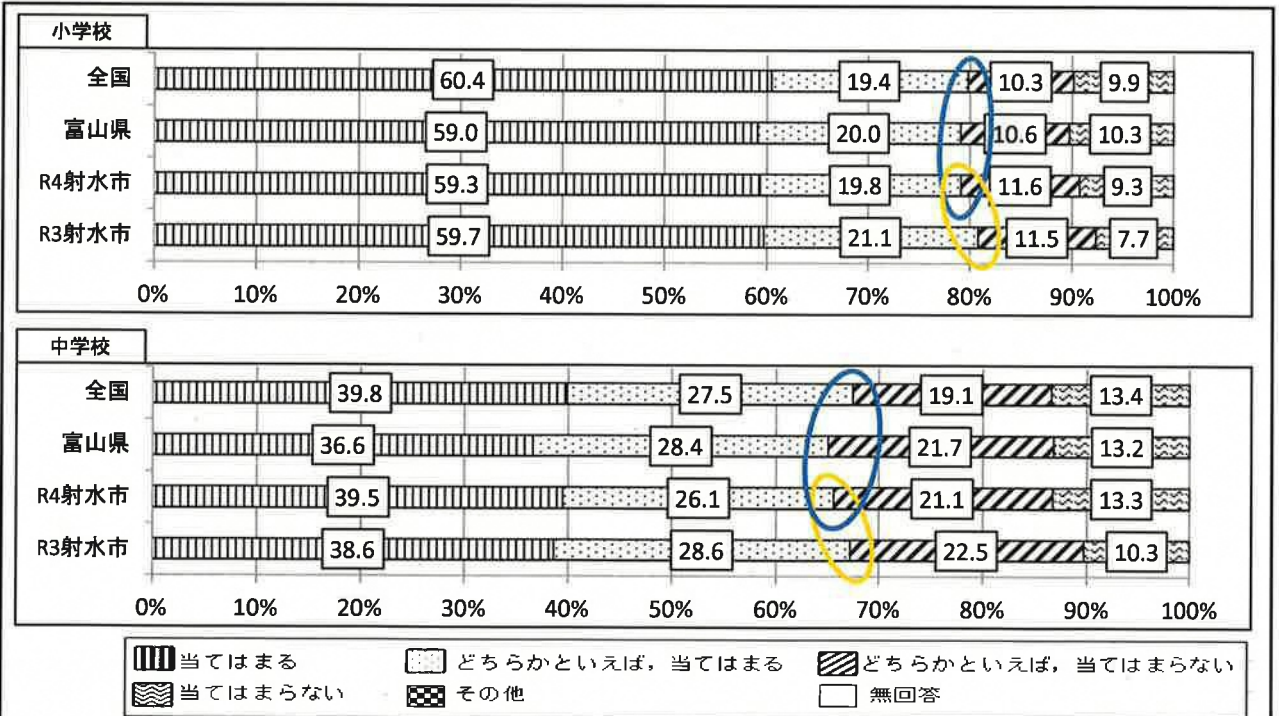
Q1 自分には、よいところがあると思いますか。



「当てはまる」の割合でも「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた割合でも、小、中学校ともに、全国平均、県平均を上回っている。特に中学校では、「当てはまる」の割合が全国や県平均を大きく上回っている。R4年度とR3年度の比較においても、8.6%上がっており、自尊感情の高まりがうかがえる。

【夢・目標】（児童生徒質問紙より）

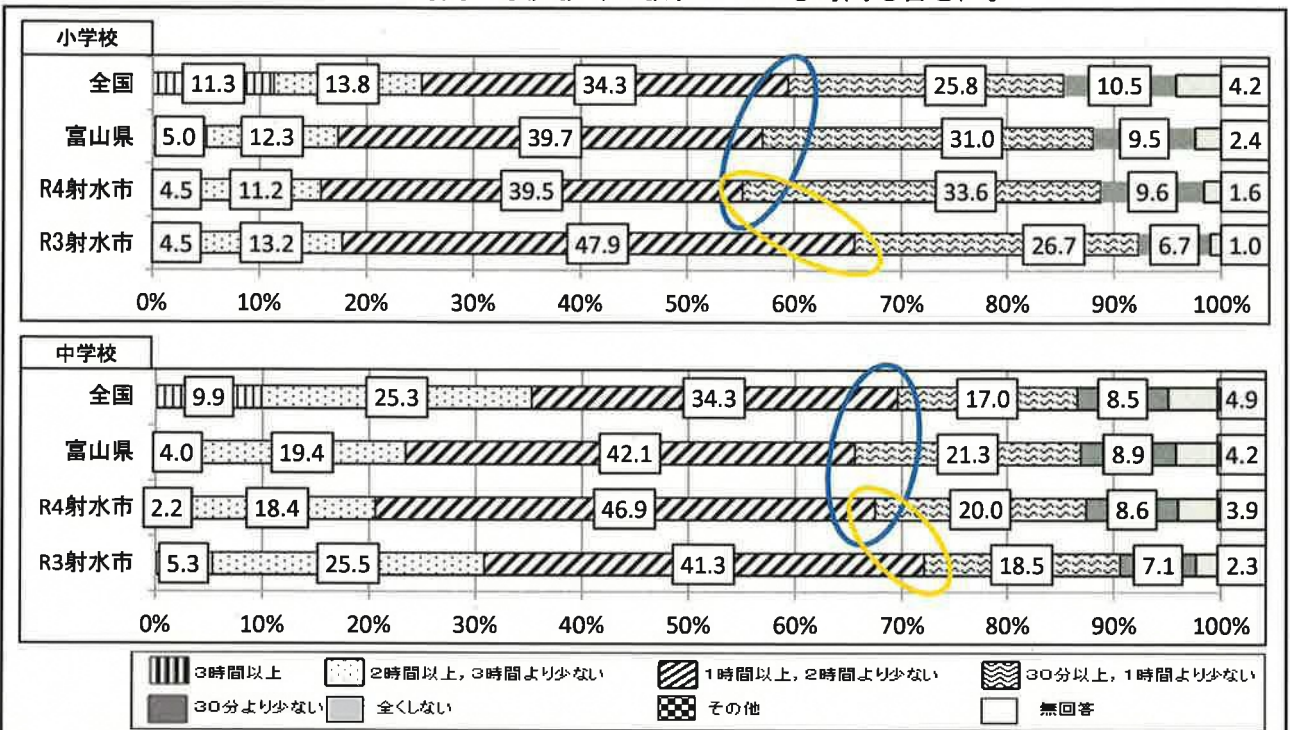
Q2 将来の夢や目標を持っていますか。



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた割合は、小・中学校ともに、県平均をやや上回り、全国平均よりやや下回っている。また、R4年度とR3年度の比較においては、中学校では「当てはまる」の割合が0.9%上がったものの、「当てはまる」に「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた割合は、小学校では1.7%、中学校では1.6%下がっている。

【家庭学習】（児童生徒質問紙より）

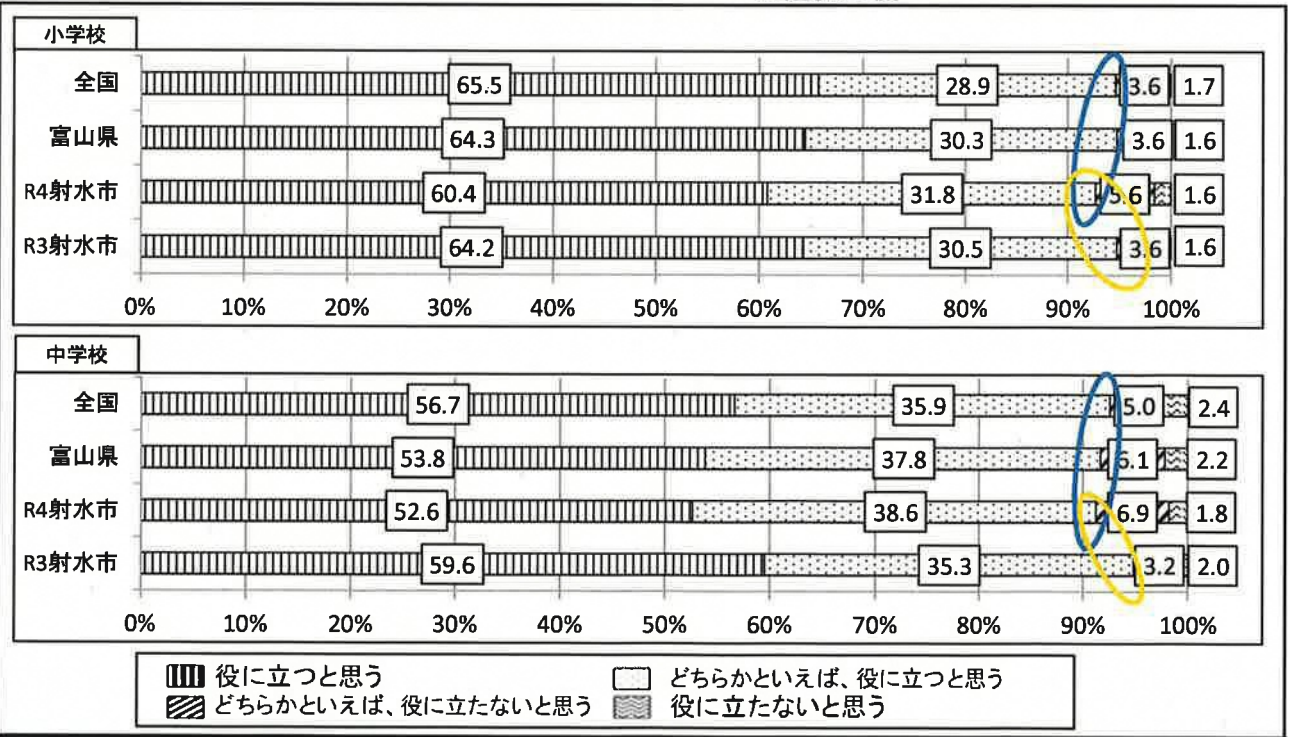
Q3 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）。



小学校では、「3時間以上」「2時間以上、3時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」を合わせた割合は、小学校では、全国平均、県平均より下回り、中学校では、県平均を上回り、全国平均より下回っている。また、この割合については、R4年度とR3年度の比較においても、小学校では10.4%、中学校では4.6%下がっている。

【ICT活用】（児童生徒質問紙より）

Q4 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。



昨年度新たに追加された項目である。「役に立つと思う」「どちらかといえば、役に立つと思う」を合わせた割合は、小学校、中学校ともに、全国平均、県平均より下回っている。R4年度とR3年度の比較においても、小学校では2.5%、中学校では3.7%下がっている。